

【 総務産業常任委員会 】

1 人口減少社会 役職人選、町づくり、人口対策、自治組織

意見	・ 少子高齢化が進み地域の人口が減少しているので、行政等から 地域へ依頼される役職（民生児童委員、人権擁護委員、防犯委員、衛生委員、安協など）を集約もしくは削減してもらいたい。【南部】
回答	行政からの役職依頼で人選に困っている地区は町に相談してみてください。
意見	・ 持続可能な町づくりへの方策を立てて欲しい。【東部上】
回答	町は総合計画で向こう10年の持続可能な町づくりの方針を策定しています。令和3年度開始の第6次山ノ内町総合計画でも議会代表が審議会に出席し提案をしていきます。
意見	・ 人口を増やし、維持していくには子供が多くなければならない。出生数が増え、子供が多くなる方策を考え、対策を講ずるべきである。【西部】
回答	町は第5次町総合計画後期基本計画でイノベーション戦略プランを重点施策と位置づけ、人口施策を実施しています。議会として視察、情報収集をして一般質問などで提言していきます。
要望	・ 人口減と高齢化に対応した地区の自治活動組織への対応。【西部】 ・ 人口減と高齢化により今までのような地区の自治活動組織が維持できなくなってきたので、対応を検討して欲しい。【西部】 ・ 平均年齢が上がっていくなか「おてんま」が地区でこなせなくなってきた。シルバー人材センター等に年間何回かお願いできるような施策を考えて欲しい。【南部】

2 移住定住促進

意見	・ 移住定住推進の取り組み状況は。【西部】 ・ 町外へ出た者が再び戻ってこれるような環境や支援をして欲しい。【北部】
回答	移住定住推進室が中心となり各課と連携しながら推進しています。30年度は、都市圏での5回の相談会に321組465人が参加し、田舎暮らし体験住宅の利用13組うち2組が移住しました。また、若者定住家賃補助13件、移住促進家賃補助13件、空き家活用改修補助2件、若者定住促進マイホーム取得補助12件の利用がありました。
意見	・ 人口減少で移住定住を進める必要性は理解できるが、住むに際し移住者が地域になじめるような対策をお願いしたい。【西部】 ・ 移住相談会などであらかじめ地域の決まりなど伝えて欲しい。【西部】
回答	パンフレットに「地域の決まりごと」等は記載されており、相談会等でも説明しています。

3 楽ちんバス 公共交通

意見	・ ダイヤやルートについて検討してほしい。【北部】 ・ 昼の便があると良い、朝の部活の帰り、午後の部活への便として利用できる。【北部】
回答	毎年、町地域公共交通会議で楽ちんバスのダイヤ、ルートの見直しを行っています。

意見	・利用率を上げるには楽ちんバスに観光客を乗せることも考えても良いのでは。【北部】
回答	バスの利用率の向上は交通網維持のために大切と考えますが、楽ちんバスは廃止路線バス代替および公共交通空白地域の住民の移動手段を確保するために町が運行するバスとなっています。現状では観光客の乗車はできません。
意見	・運行範囲の広域化は可能なのか。【北部】
回答	広域化に向けて中野市と地域公共交通網形成計画の策定を検討します。
意見	・デマンド交通の検討。【北部】
回答	平成19年度に4か月間、乗り合いタクシーの実証運行を行いましたが無利用が有りませんでした。
要望	・公共交通（楽ちんバス）の不便さを見るに、今後高齢化、過疎がさらに進むなかで、ここで暮らしていけるのか、住み続けられるのか不安が増す。この問題は須賀川だけでなく全地域での問題である。うまく取り組んでいる事例なども研究し、議員は一丸となってこの問題の解決に取り組んでほしい。【北部】
	・夜間瀬駅での乗り換えはお年寄りには大変なことである。【北部】
	・高齢者により多くの利用券等の補助を。【北部】
	・議会側からも利用者の増加に向けて、様々な角度から検討を要望。【北部】

4 産業 観光と農業の連携

意見	・農業と観光の連携ができるように施策を進めて欲しい。【西部】
意見	・農業生産者としての農家と観光業者としての旅館業者との連携がうまく機能することができる組織などを確立してほしい。【西部】
回答	町では観光と農業をグリーンツーリズム、温泉ガストロノミーツーリズム等で推進しています。現在、観光と農業を連携する組織として町グリーンツーリズム協議会が設置されています。

5 観光振興策、環境整備、入湯税

意見	・賑わいのある温泉街づくりに施策を考えて欲しい。【東部上】
回答	町には起業チャレンジ支援事業補助金、空き店舗等活用事業補助金等があり、起業者を支援しています。30年度は後者8件に約827万円の補助がありました。
意見	・外国人が捨てて行くごみ対策、観光施設の周辺の整備（雑草処理等）、観光地に相応しい環境づくりが大切である。地域を巻き込んで行うことを考えても良いのではないかと。【東部下】
回答	議会として情報収集を行い、施策を提言していきます。
意見	・入湯税の使い道を明確にして欲しい（どこに、どのように）。【東部上】
回答	入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設、その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光振興に要する費用に充てるための目的税で、鉱泉浴場における入湯行為に対して課税されます。H30年度実績約6900万円、83%が観光・温泉、4%が消防施設整備、13%が環境整備に活用されています。

6 ユネスコエコパーク 町民理解度

意見	<p>・町は、ユネスコエコパークを充実することが町の活性化につながるというが、町民の理解度や考えに開きがあると感じるがどのように思うか。【南部】</p> <p>・年間7～8回の講演会、1回の参加者が約50人、延べ400人、8割がリピーターであるから年間約100人、多くの方に理解してもらうのに何年かかるのか、これでよいのか。【南部】</p>
回答	<p>ユネスコエコパーク推進室では「ユネスコエコパークセミナーを通して徐々に理解を深めていく方法が一番良いと考えます。これからは、様々なセミナーを開催し理解を広めていく」とのことです。</p>

7 消防団 団員不足、組織再編

意見	<p>・少子化が進むなかで将来を見据えて組織の再編成に積極的に取り組んでほしい。【南部】</p> <p>・全町の問題として検討する場をつくるように町に提言してほしい。【南部】</p> <p>・南部分団も北部分団のように一本化する必要があるのではないか、町に働きかけてほしい。【南部】</p> <p>・消防団の団員の減少にともない、西部地区で一つの消防団とすることを検討を始めてほしい。【西部】</p> <p>・常設消防が充実して来ている。団の再編、統合も考え、団員の定数も見直すべきではないか。【南部】</p>
回答	<p>令和3年度の組織再編に向けて、本年度の町消防防災委員会で検討していきます。</p>
要望	<p>・団員に依頼する際に家族の理解がなかなか得られない状況がある、啓発活動に力を入れほしい。【南部】</p> <p>・地域を自分たちで守ることを目的として、消防団への加入促進を含め、啓発活動をしっかりと実施してもらいたい。【南部】</p>

8 道路 交通

意見	<p>・夜間瀬セブンイレブン前の信号機（町道側）の感知位置範囲が狭いので（停止線位置に正確に停車しないと反応しない）広めに設定はできないか。【北部】</p>
回答	<p>・コンビニ駐車場の出入り口があり、これ以上の範囲拡大は困難です。</p>
意見	<p>・よませふれあいセンター前の道路（国道403号）が冬季間にはかなり渋滞し危険な道路になってしまう。穂波大橋先線が整備された時大型バスについては迂回案内の標識があったはずだが今はない、なぜか。【西部】</p>
回答	<p>・迂回する町道と国道との交差点が狭く、バス会社から「帰路の大型車の内回りの旋回が困難」との苦情があり、迂回案内を取り止めたとのことです。</p>
要望	<p>・沓野から戸狩にかけての道路（国道292号など）の除草対策をおこなうなど、美化運動に取り組んでもらいたい。【南部】</p> <p>・上林の国道の法面の草刈りをしている。何らかの補助はできないか検討を。【東部上】</p>

要望

- ・狭い生活道路への案内板設置は困る。安全に利用できる道路での設置をお願いする。【東部上】
- ・役場付近の道路の整備。老人の散歩に危険を感じる。道路の拡幅や歩道の整備をして欲しい。【東部下】

9 道路 除雪

要望

- ・町道の歩道が除雪していないところがあり、車道を歩くようになってしまい危険ではないか。【南部】

10 防災 情報通信、SUGUメール

意見

- ・雨の中、防災無線は聞こえず役に立たなかった。【北部】
- ・防災無線および個別受信機が聞き取りづらかったので改善を。【南部】
- ・防災に向けて情報の取得や伝達に取り組んでもらいたい。また避難場所の連絡も的確にして欲しい。【西部】

回答

雨の日に防災無線屋外放送がよく聞こえないのは屋外放送の限界と考えます。それを補うのが戸別受信機、SUGUメールです。戸別受信機の音が聞こえない問題はメーカーが全戸対応しました。まだ受信機が聞こえない人は役場と相談してください。

意見

- ・SUGUメール、戸別受信機について 普及がいまいちだと思う。【北部】
- ・SUGUメールはもっと多くの人に加入してもらえるよう努力すべきである。【東部上】
- ・防災無線は聞き取れない。代替りとなる戸別受信機やSUGUメールは高齢者には、ハードルが高い。【東部上】

回答

戸別受信機はラジオに文字放送機能が付いたもので操作は難しくありません。高齢者世帯には戸別受信機を1000台ほど設置しています。町はSUGUメールを2000件程度まで登録を促進したいとのことです。。

11 防災 避難所の設置、開設

意見

- ・避難所開設する判断について再検討して欲しい。【北部】
- ・避難所の設置場所については地形、立地条件を考慮し検証を。【東部上】
- ・土砂災害の対応 土砂災害の避難場所はどこになるのかははっきりしていない。【東部下】
- ・水害や土砂災害被害により避難場所が変わってくる。どこに避難するのか検討し、的確に示してほしい。【西部】
- ・数分で災害になる土砂災害への対応はどうするのか。【東部下】

回答

町は1000年確率浸水域の防災マップ見直しの際に避難所開設や運営等のマニュアルを策定していく予定です。

1 2 防災 観光客・高齢者の避難

・旅館では多くのお客様の誘導が必要となる。公設でなくてもできるだけ近くに避難所の設置が必要であり、防災マップの見直しも必要と考える。【東部上】

要望 ・高齢者の避難について検討して欲しい。天川の住人の文化センターへの避難は難しい。【東部上】

・高齢者や障害者が避難できる公設以外の施設も避難所に指定して欲しい。【東部上】

1 3 防災 避難所の備品、運営

・湯田中区の自主防災組織で共益会館を避難所として開けたなかで、数人の方がみえられたが、毛布等、防災グッズが整備されていなく戸惑った今後は、各避難所に防災グッズの整備を要望。【東部下】

・文化センターに避難したが、いろいろ考え、不安な時間であった。台風情報等もっと細かく、多く発信してほしい。また、避難所ふさわしい設備、用品を整えてほしい。【東部下】

要望 ・避難所（佐野人材センター）を開設したが、テレビが無く情報が入ってこなかったの
で、テレビ設置の補助を考えてもらいたい。【南部】

・夕方6時ごろ文化センターに避難したが、職員としては、初めての対応ということで戸惑い感が見えた。また、職員の人数が少なく、避難者へのきめ細やかな対応が出来ていないように感じた。【東部下】

・避難所でのペットの扱いを整理して欲しい。【南部】

・家族等のプライバシー保護の面で、簡易な間仕切りがほしい。【東部下】

・高齢者の方がタクシーで避難されて来られた。また、帰路については、タクシーが手配出来ず、町の職員が対応をした。こうした高齢者の支援体制等マニュアル整備が早急な課題ではないか。【東部下】

1 4 防災 災害復旧工事

意見 ・三沢、伊沢川の崩落等の応急的修繕はされているが、今後の対応は。【南部】

回答 災害復旧工事は災害前の状態に復旧させることが原則となっています。

・角間川右岸側護岸においてじゃかごの欠損および石積の欠損箇所がある。復旧工事を。【東部上】

・横湯川において、河床に流木、堰堤（落差工）に欠損箇所があるので対応を。【東部上】

要望 ・三沢川の支流が氾濫して、細いせぎのみこめず、人家に浸水した。今後心配である対策を。【南部】

・天川の避難道路が崩れているので、早急な対応を。【東部上】

・角間川の河床が高く、支障木が散乱している。整理を。【東部上】

15 防災 災害弔慰金

意見	・災害関連死への災害弔慰金支給審査委員会は設置されているか。【北部】
回答	町には災害関連死への災害弔慰金支給審査委員会はありませぬ。通常災害については、災害弔慰金支給等に関する条例があり、弔慰金の支給は条例によります。

16 有害鳥獣対策

意見	・有害鳥獣対策は全国的な問題であり、優良事例を見つけ、早急に対処してほしい。【南部】
回答	町は有害鳥獣に対し、侵入を阻む電柵設置を助成し、猟友会にパトロールを委託して、銃、わなによる捕獲・駆除を行なっていますがサルには不十分です。「本年度は特にサルに対し当町に適した有効な駆除手段を見つけ、対処していく」とのことです。
要望	・通学途上の子どもたちに恐怖や被害が及ばないよう、早めの対策を講じるべきである。【東部上】 ・サル被害に早急な実証性のある対応をして欲しい。商店の被害、人家への侵入、廃屋の撤去。【東部上】

17 女性登用

意見	・地域の役員に女性が登用できるように町が積極的にはたらきかけてほしい。【南部】
回答	町は男女共同参画社会に向け、女性を役場役職に登用するなどの取り組みがみられます。女性には積極的な活動を期待します。

18 その他 道の駅

意見	・道の駅にあるトイレの改修を実施してほしい。【南部】
回答	令和2年度に改修完了予定です。